

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

# 明るい取手

2012年9月16日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

## 地域説明会 始まる

# 小学校統合に異論続出 !!

一国の通達 / 「無理な学校統廃合の禁止・住民の合意を得て」

9月9日(日)稲小学校、小文間小学校で行われたのを皮切りに、今月中の土曜、日曜日には、各地で引き続き地域説明会が開かれます。文部科学省も「地域住民の合意なく強引に進めないこと」を求めており、説明会で出された住民の意見は尊重されなければなりません。

小文間小・井野小を廃止し、  
吉田小に統合

## 小文間小学校 地域説明会

白山西小廃止し、稲小に統合

## 稲小学校 地域説明会

### 今後の地域説明会

- 戸頭東小学校体育館  
日時 9月15日(土) 午前10時から
- 白山西小学校体育館  
日時 9月15日(土) 午後2時から
- 井野小学校体育館  
日時 9月22日(土) 午前10時から
- 吉田小学校体育館  
日時 9月30日(日) 午前10時から
- 戸頭西小学校体育館  
日時 9月30日(日) 午後2時から

地域説明会の様子や出された意見などについて  
その一部を紹介します。  
(裏面参照ください。)



## 9月定例取手市議会開会中

9月5日～26日(予定)

### 日本共産党・鈴木市議の質問に 藤井信吾市長が答弁

## 学校の水泳授業に グリスポのプールを使用 え!!学校のプールが無くなる

鈴木きよし議員が一般質問で、「学校の古くなったプールの改修を」と求めたところ、市長は、「将来は、グリスポ(取手グリーンスポーツセンター)のプールを活用することを検討したい」と答弁しました。

「統廃合」で、4月に新たにスタートした取手第一中(旧東中)の生徒らは、施設が古い・狭い等の理由から、廃校になった旧取手第一中のプール、体育館、テニスコート等を授業と部活で使用しています。学校の統合で生徒への負担を増やし、さらにプールまでも、学校からなくすことを市長は本当に考えているのでしょうか。

同様の議論が、総務文教委員会でも行われています。これ以上の子どもを犠牲、教育環境を悪くすることは絶対に許せません。



取手市の工事や委託などの契約等に関し、  
市長・議員などが影響を不正に行行使することのない様...

## 日本共産党、政治倫理条例改正案を提出

「民営化」後の戸頭東保育園 現職市議の親族が運営

5日から始まった9月市議会で、遠山ちえ子市議の一般質問で、今年4月「民営化」された元取手市立戸頭東保育所が、**現職市議の父母と妻が運営**する保育園(福祉法人)となっている実態が明らかになりました。

元取手市立戸頭東保育所は、「民営化」の名のもとで、公立保育所の建物・備品は無償、保育園の借地料(年210万円)を取手市が負担するといういたれりつくせりの条件で民間に譲渡されました。そして、その譲渡先は現職議員の親族というものでした。現職の特定議員の便宜を図るために使うという取手市の公共施設の「私物化」は許されるのではものではなく市民から批判の声があがりました。

この「民営化」・無償譲渡を審議した昨年9月定例市議会では、こうした事態になることが十分に予測されたため、これを許さない「政治倫理条例の改正を求め請願書」が市民から提出され、賛成多数で採択されました。

請願の採択を受け、日本共産党は、同条例の「改正案」を提出しました。しかし、「継続審査」扱いとされ、「改正案」は市議会の任期切れ最後の12月議会で審議未了廃案とされました。

日本共産党議員団は、**市政の利権体質の改善、政治倫理の向上を図るため**、再度「政治倫理条例改正」の提案しました。12日、これを審査した総務文教常任委員会は「条例改正案」を否決。「条例改正案」に反対した議員への市民の批判は免れません。本会議での可決に向け、日本共産党は引き続き全力をつくします。

総務文教常任委員会での各議員の態度は、  
【賛成】

日本共産党の鈴木、関戸議員  
【反対】

市村、渡部、川又、金沢、小嶋、染谷議員  
吉田議員は委員長のため、採決に加わりません。

一人で悩まずに お電話を  
電話 72-7816

弁護士無料法律相談 / 生活相談・労働相談

# レポート①

地域説明会の様子や出された意見などについてその一部を紹介します。

小文間小・井野小を廃止し、  
吉田小に統合

## 小文間小学校 地域説明会

住民 50 名弱の参加者に対し、スライドを映し、平成 28 年には、2 年 3 年生のクラスが 7 人づつとなり複式学級になる予定、適正規模とするために「統合」との説明。その後参加者から次々と以下のような発言がありました。参加者から反対の意見が相次ぐ中、教育委員会の「暴言」に参加者が抗議、職員が謝罪する場面もありました。

- 市長が参加していないのはなぜか
- 説明会を 9 月 9 日という稲刈りで忙しいこの日に決定したのはなぜか
- 同じような条件にある山王小が後回しになった意図は何か
- 少人数でコミュニケーションが取れない等ということはない。
- この統合計画は教育予算を減らして教育を悪くする。「ウェルネスタウン」計画等に使わず、教育予算に回せ。
- 避難所として、また地域の盆踊り、運動会などコミュニティの場として大切な所なのに無くなったら地域が衰退するだけ。
- 140 年の歴史のあるこの学校は特別だ。
- 親も子ども 3 人もこの学校を卒業した、一時マンモス校にいたが小文間に戻った、子どもにも良い環境の学校です。
- 小どもは歩いて通える学校が理想、地域の人も行事に参加できる。
- 複式学級もいいと思う、もっと地域のボランティアを頼ってほしい。
- バス通学が仮に始まったとして、早帰り休養など問題が起きたら、家族等迎えに行けないときはどうするのか。
- 街おこしとつなげて考えないと。
- 地域の議員さんは、小学校を残すと公約したのだから期待している。
- 小貝川が決壊したら高須の人たちは桜ヶ丘小へ避難、そこは船が 7 隻しかないと思う、桜ヶ丘も、渋沼も小文間に避難することになるのでは。

\* 地域の人々の声を聞き取ってきたと発言

- ・この学校は有名な建築家の設計と聞いている、その意味でも残すべき。
- ・先達は市営住宅を建てたり、住宅を誘致して、小学校を守った経験がある、と聞いた、学んでほしい。
- ・PTAの説明会后、お母さんたちは「説明会でいきなり出されたので、PTAとして話し合う場もなくこのまま決められていいのか」、「意見は役員を通してとか、経過はインターネットを見てと言われた、見られない人のことを考えず不親切だ。」
- ・「PTAや地域の皆さんと話し合って慎重に決めるべきだ」。

白山西小廃止し、稲小に統合

## 稲小学校 地域説明会

白山西小学校を廃止し、稲小学校に「統合」する計画についての地域説明会には、約 20 名の住民が参加。参加者から次のような意見・質問とやり取りがありましたが、答弁できないものも少なく無く、納得出来るものではありませんでした。

- Q. 「広報とりで」で広く情報を公開して。
- A. パソコンのウェブで検索すれば誰でも見ることが出来る。
- Q. 適正規模にするというが、世界には小さい学級・学校が教育上良しとされ「世界保健機構は学校規模 100 人以下を勧告している。小規模校のデメリットに競争・切磋琢磨が出来ないとしているが、日本の教育における過度な競争はやめるようユネスコが勧告している。1 学級 1 クラスになるからと合併する必要はない。
- Q. 文科省の調査結果によると、いじめは 200 人規模の小学校なら 1 件、少人数学校ほど少なく大規模校ほど頻発するという。
- Q. 学校は地域コミュニティの拠点であり、防災上も避難場所となるところ、廃校にしてどうするのか。
- Q. 取手市の将来・街づくりから見ても、若い人たちが転入してこなくなる。学校をつぶすような市に魅力はないだろう。
- Q. 文科省は 2017 年から 30 人学級にする方針を出している。現在の 40 人学級を基準にして学級数を云々するのは、国の方針からも逆行するものだ。
- Q. 稲小にも特別学級はあるのか。
- A. 稲小 1 クラス 4 名。白山西小 2 クラス 4 名。
- Q. 子どものための統合か、片道 2,2 km を毎日通うのは大変だ。歩いてみたことがあるか。
- A. 通学可能な距離だと考えている。
- Q. 前の説明会と全く同じ説明をしている。教育委員会に意見を言っても無駄だったんですね。市長に言わなければだめだと思った。